リレー「となりの社教主事 49」

子どもも大人も学べる場

下野市立古山小学校　木野内 公美子

社会教育主事講習での、異なった校種や行政の方々との出会いはとても興味深いものでした。様々な講義や演習を受けて、１番心に残ったのは「子どもを育てると大人が育つ大人が育つと地域が育つ地域で子どもを育てると地域で大人も育つ」ということです。教育の対象は子どもたちだと考えていましたが、その先にいる大人にも関わっていることを知り、地域連携の大切さを学びました。

勤務校の古山小では、昨年度、学校支援ボランティア「ＮＥＸＴ」を立ち上げ、保護者の方々を中心に子どもたちの教育のサポートをお願いしています。昨年は多くの方の参加希望をいただきましたが、感染症の流行に伴い、十分な活動ができませんでした。地域の力を生かした教育活動を行うためにも、学校の手助けをしたいという地域の思いを生かし、子どもと大人が一緒に学んで行ける組織作りに尽力していきたいです。

New Face　＊R3 年度社会教育主事講習を修了した４名の皆さんを紹介します!!

教育観が広がった社会教育主事講習

壬生町立壬生小学校　鈴木　郷平

講習を受ける前までは、「社会教育」「生涯学習」とは何か、あまりよく考えたことがありませんでした。しかしこの講習を通して、教育というのは学校だけでなく社会全体で行っていくものだということが分かりました。そして「社会教育」という形で地域に貢献する方法を学び、視野が広がりました。今回学んだことを今後に役立てたいです。

「つながり」の大切さ

小山市立旭小学校　綱川　詠子

オンラインでの社会教育主事講習では、直接顔を合わせて話ができなくても「人とのつながり」の大切さを感じられた１５日間でした。人が幸せに生きるために、人との関わりが大切であることを深く実感しました。「つながり」を今後も大切にし、学校と家庭、地域の結びつきに少しでも貢献できるようになりたいと思います。

学校と地域、人と人とのつながりを大切に

栃木市立静和小学校　大類　竜矢

社会教育の基礎や法律、最新の動向など、これまで知らなかった多くの知識を得ることで、自分の視野が大きく広がっていくのを感じました。また、学校や地域、人と人とをつなげるために、社会教育士はどのような役割を担えば良いのかを強く意識するようになりました。本講習で得たものを自分なりに昇華し、現場でいかせるよう自己研鑽に努めていきたいと思います。

社会教育主事講習を終えて

栃木県立栃木特別支援学校
藤田　佐織

今回の講習を受けて、社会教育の必要性を知り、様々な視点で物事を見る力がついたのではないかと思います。コロナ感染症の影響で、講習の全てがオンラインになってしまい、集まれないことの不便さや難しさを感じ、人と人とのつながりの大切さをより実感できました。今後は主体的な学び、人とのつながりなどを大切に、仕事に生かしていきたいです。

ご案内

生涯学習研究会第１回研修会

「下都賀地区ふれあい学習研修会」
「下都賀地区地域連携教員研修Ⅱ」
「社会教育有資格者ステップアップ研修Ⅰ」
「令和３年度社会教育主事講習事後研修」

◆日　時　令和３年 11 月 26 日（金）13:30～16:10
◆会　場　栃木市国府公民館
◆申込み　所属長あての別送付開催案内により、お申し込みください。
◆懇親会　新型コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止の観点から、今年度も開催いたしません。

問合せ
発　行　下都賀地区生涯学習研究会
事務局　下都賀教育事務所ふれあい学習課内
TEL　0282-23-3422　/　FAX　0282-23-3502
E-mail　shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

ホームページでもご覧になれます。　ふれあい学習課　情報誌・機関紙　で検索してください。